農で活きよう、仲間とともに。

OSINの会

おしんのかい

山形県　大江町就農研修生受入協議会

一緒に夢をかなえよう。
農業を始めるなら、大江町で！

大江町では17名の新規就農者が活躍しています。

「OSINの会」は大江町就農研修生受入協議会の通称で、農業をはじめたい方、農業の可能性に挑戦したい方を支援する受入組織です。大江町の「O」・就農研修生の「S」・受け入れの「IN」で「OSIN」、さらに大江町はNHKドラマ「おしん」のロケ地になったこともあり、農業研修は受入農家も研修生も辛抱が必要なことから「OSINの会」としました。

2013年4月発足の組織ですが、すでに17名が研修を終え、新規就農者として独立しています。現在は研修生4名（2021年4月現在）が日々研修に励んでおり、これまで家族を含めると60名の方々が町内に移住しました。農業はもちろん、地域の一員として町づくりなどにも積極的に関わり、多方面で活躍中です。

移住してきた方々がいきいきと農業に取り組む姿、「毎日楽しいです！」という声が、私たち受入農家にとっても大きな励みになっています。

大江町の自慢は、豊かな自然、季節ごとのおいしい果物、野菜、山菜、そして何と言っても人情味あふれる優しい人柄です。ぜひ一度、大江町に来て、あなた自身の目で見て、体験してください。

「OSINの会」一同、心からお待ちしております。

2018年
全国優良経営体表彰担い手づくり部門
農林水産大臣賞受賞

大江町就農研修生受入協議会
「OSINの会」　会長　渡辺 誠一

高収益の果樹を中心に、
野菜など通年作物栽培にも適した地域です。

すもも

西洋梨

りんご

さくらんぼ

ぶどう

もも

トマト

スイカ

ブロッコリー

枝豆

啓翁桜

水稲

「OSINの会」は『6つの安心』で夢の実現をサポート！

安心1 高収益

ブランド品種栽培による高収益農業を実践！

市場での付加価値を高めて、収益力をアップ！

安心2 組織力 指導力

10人の農家が指導する充実の受入体制！

果樹・野菜・稲作など、希望作物の研修が可能。
2年の研修が10年分の実地経験に相当します。

安心3 住まい

住宅費補助など、大江町の支援が充実！

新規就農者住宅や単身者向け寮のほか
家賃補助・光熱費補助が利用できます。

安心4 施設

共同利用できる作業所を2か所完備！

農作業に欠かせない作業所が低料金で利用可能！

安心5 農地

「OSINの会」ネットワークで農地契約も円滑に！

土地情報も集めやすく、契約時の信用度もアップ！

安心6 農機具

共同利用や補助金利用で初期投資を軽減！

農機具バンクなら低料金で共同利用できます。

安心 1
高収益

ブランド品種栽培による高収益農業を実践！

JAさがえ西村山すもも部会が確立したブランド『やまがたSumomo® 』栽培で市場での高付加価値による収益力アップ！

やまがた Sumomo®

地域限定栽培により、10aあたり100万円超の販売額を実現！

サンルージュ

光李

赤李

緑李

愛李

さくらんぼ、大粒ぶどう、もも、西洋梨、りんごのブランド品種を積極的に栽培しています。

安心 2
組織力
指導力

2年の研修が10年分の実地経験に相当します。

10人の農家が指導する充実の受入体制

2018年
全国優良経営体表彰担い手づくり部門
農林水産大臣賞受賞

- 複数の農家から異なる考え方を学ぶことができる。
- 土地を借りる際、土地の情報を多く集めることができ、信用力も高い。
- もし研修先の農家とミスマッチが起きても、他の農家がバックアップし研修継続が容易。
- さまざまな作物の栽培を研修することができる。
- 毎月勉強会を行い、研修生同士の情報交換が活発。

安心3
住まい

住宅費補助など、大江町の支援が充実！（最長5年間）

単身者向け寮は、家賃・光熱費無料！

■ 研修所（男子寮）と新規就農者住宅（女子寮）を無償で利用できます。

家族向け住宅は、家賃・光熱費補助！

■ 借家家賃補助／**40,000**円（月／上限）　■ 水道光熱費補助／**10,000**円（月／上限）

※空き家あっせんもできます。

安心4
施設

共同利用できる作業所を2か所完備！

農作業に欠かせない作業所が低料金で利用可能！

選果　出荷　情報収集

■ 年間利用料／約30,000円

本郷作業所

本郷作業所内部

本郷作業所内部

三郷作業所

三郷作業所内部

三郷作業所内部

安心5 農地

「OSINの会」ネットワークで農地契約も円滑に！

土地情報も集めやすく、契約時の信用度もアップ！

- 独立就農時の農地契約で、これまで困ったことはありません。
- 大江町や「OSINの会」の情報提供や支援が充実しています。
- 「OSINの会」の受入農家10人も農地あっせんに協力します。

実績▶「OSINの会」新規就農者の耕作地総面積：25ha

安心6 農機具

共同利用や補助金利用で、初期投資を軽減！

農機具バンクなら低料金で共同利用できます。

スピードスプレーヤ—
1000ℓ

スピードスプレーヤー
600ℓ

乗用草刈機

管理機

運搬車

肥料散布機

- 農機具バンクなら、独立就農時の初期投資を軽減することで、経営の安定化に役立ちます。

■個人購入価格と農機具バンク会員料金

農機具名	購入価格	農機具バンク会員料金
スピードスプレーヤ—1000ℓ	6,000,000円	4,000円／回
スピードスプレーヤ—600ℓ	5,000,000円	2,500円／回
乗用草刈機	1,000,000円	4,000円／日
管理機	300,000円	2,000円／日
運搬車	800,000円	1,500円／日
肥料散布機	600,000円	2,000円／日

購入等の補助金は就農開始から最長で5年間利用でき、設備投資をサポートします。

農機具等購入補助 20万円以上の農機具を購入した場合

作業小屋設置改修補助 農作業小屋を新規に設置、購入または賃借し改修する場合

「OSINの会」新規就農者

独立就農6年目の経営報告書（一例）

■ 栽培作物と年間予定

栽培作物	作付面積	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
すもも	70a		摘果		収穫 大石早生・ソルダム	収穫 サンセプト・光李	収穫 サンルージュ・愛李			剪定			
もも	20a		摘果			収穫				剪定			
西洋梨	20a		摘果					収穫		剪定			
ブロッコリー	30a				播種	定植			収穫				

■ 収支内訳（概算）

収入額			支出額		
内訳	すもも	8,000,000円	内訳	資材、出荷手数料等	4,000,000円
	もも	2,000,000円		農薬・肥料等	1,500,000円
	西洋梨	1,300,000円		その他経費	2,000,000円
	ブロッコリー	600,000円		農機具バンク利用料	200,000円
収入合計		**11,900,000円**	**支出合計**		**7,700,000円**
				収支合計	**4,200,000円**

■ 設備投資

◎軽トラック（中古）	300,000円	独立就農1年目に購入
◎乗用草刈機	1,000,000円	独立就農2年目に購入
◎運搬車	800,000円	独立就農3年目に購入
◎高所作業車	1,200,000円	独立就農5年目に購入
◎スピードスプレーヤー	5,000,000円	購入検討中

農機具等購入補助利用

■ 家族構成　◎4人家族（夫・妻・子供2人）　◎一戸建て

農機具等購入補助金を利用して、設備投資を計画し、農機具3台を購入。すももともの作業に役立っています。現状は、すももをメインに収入も安定するようになり、今後の栽培面積拡大がこれからの目標です。今年から交付金受給者ではありませんが、7年間の交付金受給によって、独立就農後も収入を補うことができ、経営の安定にとても助かりました。

大江町で就農するまでの流れ

「OSINの会」では、新規就農相談、見学会や農業研修の実施、独立のための農地確保などもサポート。
独立後も園地造成や苗木育成の相談など、継続的に営農についてアドバイスします。
さらに、大江町では、国や県との連携のもと、大江町独自の農機具購入補助金や住宅支援制度を用意しており、
ご家族を含めた地域交流のサポートまで、皆さんが生活しやすい環境づくりにつとめています。

Step1 情報収集

**農業に少しでも興味があれば
相談会や情報センター、現地窓口へ。
夢の実現へ前進しましょう！**

相談窓口

■大江町役場　農林課　農政係

- 大江町就農研修生受入協議会(OSINの会)窓口
- 短期研修・現地見学会のお申し込み
- 新規就農に対する支援制度のご質問

■ふるさと回帰支援センター（東京）

- 地方暮らしやIJUターンを希望する方のための移住相談窓口

就農相談会

■新・農業人フェア（東京・大阪ほか）

「就職・転職先として農業を考えたいけど、何から始めれば良いかわからない」など農業に興味がある方、お待ちしております。
各自治体や農業法人に直接質問ができたり、資金や農地、国の支援制度のご案内や各種セミナーなど、様々なコンテンツを用意しております。

Step2 現地見学会 短期研修（農業体験）

宿泊費・食費無料

**大江町で農作業体験をすることで、
就農への意欲と情熱を
再確認してみませんか。**

■現地見学会参加 ●1泊2日

四季によっておいしいものや景色が違う大江町の良さを肌で感じてください。

■短期研修 ●1日～ 14日間程度

生活体験も含め、その土地で働くイメージを具体的に経験することで、夢の実現に向けての一歩を踏み出しましょう。

- 短期アルバイト可
- 期間は応相談
- 宿泊施設完備

自己資金が少なくても就農可能！

充実のサポート体制により、リタイアゼロ！

Step3 農業研修 2年間

受入農家の技術指導を受けながら、
独立就農へ向けた計画づくりも、
仲間がしっかりアドバイスします。

農業次世代人材投資資金 交付開始（準備型2年間）

研修1年目

- 研修生として受入農家にて農業技術の習得
- 栽培作物の検討
- 視察研修（研修生無料）

研修2年目　独立就農準備

- 栽培作物の決定
- 農地の確保
- 就農計画の作成など就農への準備
- 視察研修（研修生無料）

大田市場視察

加工所視察

準備型交付金終了

※交付金については農林水産省のホームページをご覧ください。

Step4 就農開始

いよいよ独立の第一歩です。
もちろん「OSINの会」会員なら、
その後のサポートも安心です。

農業次世代人材投資資金 交付開始（経営開始型5年間）

「OSINの会」なら、
共同作業所、農機具バンクの利用が可能！
さまざまな営農相談や技術指導も継続的に実施！

- 苗木育成
- 園地造成
- 営農計画
- 施設管理
- 勉強会（月1回）
- 園地サポート巡回

安定営農への計画と実行が大切！
気候によって異なる栽培技術や病害虫対策なども、
受入農家やJAと連携できます。

経営開始型交付金終了

受入農家インタビュー

一緒に農作業をし、研修生の個性に合わせ指導しています。

阿部　藤一郎 さん（71歳）

◎役職：JA嘱託農業指導士・「OSINの会」監事

栽培作物		
もも	13品種	100a
りんご	1品種	50a
さくらんぼ	3品種	35a

毎年、研修生を受け入れていますが、それぞれ性格が違い得意不得意があるので、個性を見極めて、その人にあった指導を心がけています。ゼロからのスタートなので、一緒に農作業をしながら知識や技術はもちろん、失敗した経験も伝えています。受入農家を続けているのは、自分の土地だけでなく、この故郷の土地が荒れていくのを見たくないという思いが強いから。そして、自分もいろいろな仕事を経験した後に農業を継いだので、これから新しい世界で頑張ろうという人を応援したい気持ちからです。

農業を続けていく上で大事なのは探究心です。たとえば毎年、新しい苗木を1本でも2本でも植えてみる。つねに攻めの姿勢で前に進んでいくと、農業がおもしろくなります。私は、りんごの木が全部枯れてしまった失敗を糧に探求心が芽生えて農業に没頭しました。今も新しいことに挑戦しながら、農業に取り組んでいます。

やる気があれば、どんな作物の栽培にも挑戦できる環境です。

菊地　洋幸 さん（39歳）

◎役職：前JA大江青年部委員長

栽培作物		
すもも	12品種	100a
西洋梨	2品種	25a
さくらんぼ	6品種	80a
水稲	2品種	270a
啓翁桜	1品種	70a

両親と妻と4人で農業をしています。就農当初、父とは違う作物に挑戦しようと、すももや啓翁桜の栽培をはじめたとき、周りの先輩たちからいろいろアドバイスしてもらいました。自分が先輩から教えられたことを研修生に引き継いでいこうと受入農家になり6年目です。農業の経験がなくても、やる気と向上心があれば成長でき、現状に満足しないで、強い意志があれば必ず続けられることを研修生に伝えたいと思っています。

寒暖の差が大きい大江町は、果樹や野菜の栽培に適した土地で、年間を通して収入が確保できるよう、いろいろな作物を組み合わせて栽培することができます。自分が作りたいと思った作物があれば、どんなものでも挑戦できる環境で、十人十色の営農プランが立てられます。さらに、それを現場目線でアドバイスできる受入農家が揃い、全力でサポートする体制がある。それが「OSINの会」です。

研修生 インタビュー

子供たちのため自然の中で農業すると移住を決めました。

研修生 1年目

【東京都から移住】
角田　愛理 さん（41歳）

◎前職：接客業
◎家族構成：夫・子供2人

就農後の栽培予定作物		
すもも	5品種	30a
うど	1品種	30a

子供がアトピーなどの持病があり、自然の中で暮らしたいと思うようになりました。移住するなら、ずっとやりたかった農業をしようと「新・農業人フェア」に行ったとき、たまたま「OSINの会」の人に声をかけられたのが大江町を知ったきっかけです。それまで縁のない土地でしたが、話を聞き、見学会にも参加して、ここは新規就農者向けの住宅支援があり、農機具バンクで機械が借りられ、共同作業所もあって支援が充実していることが分かり、子供の学校や保育園も近くて安心なので移住を決めました。

最初は野菜とお米を作りたいと考えていましたが、今は大江町で盛んなすももを栽培する予定です。独立に向けて30aの畑を借り、すもも5種類の苗木を51本植えて準備中。自分が手をかけた作物を、子供たちが「おいしい!」と笑顔で食べてくれるのが喜びなので、しっかり管理して育て、4年後の収穫をめざしています。

意義のある農業めざし、りんごともも栽培で独立に向け準備中です。

研修生 2年目

【神奈川県から移住】
近藤　将来 さん（30歳）

◎前職：農業関係団体職員
◎家族構成：妻・子供2人・義父母

就農後の栽培予定作物			
りんご	（苗木含）	6品種	85a
もも	（苗木含）	7品種	45a

ドイツで1年間、海外農業研修を経験しました。その後、農業関係の団体で仕事をしているうちに、やはり実際に生産の現場で働きたいという思いが強くなり、妻の実家のある大江町に来ました。他の市町村の情報もいろいろ調べましたが、新規就農支援が一番手厚かったのが大江町です。農機具バンクや共同作業所などが整っていて、受入農家の層が厚く、これまで多くの研修生を指導していることが決め手になりました。

もうすぐ独立なので50aの土地に、果樹の苗木を植えて準備を進めています。農作物を通して人とのつながりを持てる農業の魅力を実感する一方で、現実の難しさに直面していますが、地に足をつけ、しっかり生計を立てられる農業をしたいと気持ちを新たにしているところです。信念を持って、社会に対して意義のある農業をめざし、将来は受入農家になれるような知識や技術を身につけたいと思っています。

新規就農者インタビュー

おいしい果物や野菜を作ることが目標。農業は楽しいです！

就農4年目

【神奈川県から移住】

柏原　千乃 さん（36歳）

◎役職：「OSINの会」事務局
◎前職：造園業　◎家族構成：独身

栽培作物		
すもも（苗木）	4品種	20a
りんご	6品種	50a
もも（苗木）	3品種	20a
あんず（苗木）	2品種	10a
ブロッコリー	2品種	30a
有機無農薬大豆	1品種	20a

小さい頃から植物が好きで、以前は造園の仕事をしていました。花の苗を育てたり、公園に植えたりしていたので、それが今につながったのかもしれません。「新・農業人フェア」で「OSINの会」の人の話を聞いて見学会に参加し、畑など見せてもらって、おいしいものを食べたのがきっかけで農業をめざしました。受入農家が多いので、研修生のときも今も、いろいろなことが学べて楽しいです。

独立就農して3年目。りんごとブロッコリー、大豆が収入源で、将来の経営を考えて、すもも・もも・あんずの苗木を育てています。りんごは手がかかるので一人では無理だと思っていましたが、「OSINの会」の方に「一緒にやろう」と言ってもらい挑戦しました。今も会員の皆さんに教えてもらっています。目標は、おいしい果物や野菜を作ること。これから農業をめざす人には、「農業は楽しいよ!」と伝えたいですね。

結婚して意欲満々。作物の品質向上めざし頑張っています。

就農4年目

【東京都から移住】

鹿　直輝 さん（25歳）

◎旧山形県立農業大学校卒　◎家族構成：妻

栽培作物		
すもも	6品種	40a
ぶどう	2品種	20a
ブロッコリー	2品種	20a
有機無農薬大豆	1品種	50a
水稲	1品種	20a
啓翁桜	1品種	60a

山形の親戚が送ってくれるさくらんぼがおいしくて、高校生のとき、自分でも作ってみたいと思ったのが農業をめざしたきっかけです。それで山形県立農業大学校に進みました。卒業前に新規就農について調べると、大江町が一番、支援が手厚く、大学校の同級生が大江町出身だったこともあり、ここに決めました。

今は、ぶどうがメインでデラウェアを栽培しています。細かい作業が多く、手間がかかりますが、収穫するときと次のシーズンに向けて剪定するとき、やりがいを感じます。すももの栽培と作業が重なりますが、ようやく効率よくできるようになりました。冬場の収入を確保するため啓翁桜にも取り組んでいて、作物それぞれの品質を上げることが目標です。昨年の夏に結婚して、独身寮から新規就農者住宅に移りました。農家は体が資本。家族が増えたので、健康第一で、ますます頑張らなければと張り切っています。

新規就農者
インタビュー

果樹と野菜の栽培で安定経営をめざし、地域に貢献したいです。

就農
5年目

【埼玉県から移住】
吉橋　敦さん（34歳）

◎前職：猛禽類調査業
◎家族構成：妻

栽培作物		
すもも	9品種	60a
りんご	6品種	70a
ブロッコリー	2品種	20a
枝豆	3品種	80a

農業に興味があり、これからの人生を自然の中で暮らしたいと考えて、「OSINの会」の見学会や短期研修に参加しました。地元の農家が主体で運営し、複数の受入農家があるので安心感があり、町自体も移住者の受け入れに積極的なので、大江町で農業をやろうと決めました。

現在は、枝豆が主力で早生と晩生の3品種を栽培し、果樹は苗木が順調に育っているところです。独立就農への交付金が終了の年になり、本格的な独り立ちに向けて正念場。果樹の基盤を整えつつ、機械化で野菜の栽培面積を広げて、収支・生産量・食味とも安定した経営をめざしています。農業は作物を育てる喜び、実りを収穫する喜び、食べてもらう喜び、地に足をつけて季節を感じて生きる喜びに満ちた仕事。リスクもありますが、達成感が得られるところが魅力です。農家は地域との関わりが大きいので、自分も地域の一員として貢献したいと思っています。

多くの農家と交流して栽培の技術を学び、地域に溶け込みました。

就農
5年目

【神奈川県から移住】
阿部　陽介（43歳）さん・愛（38歳）さん

◎役職：「OSINの会」事務局
◎前職：IT系会社員　◎家族構成：夫・妻

栽培作物		
すもも	15品種	100a
西洋梨	2品種	20a
りんご	6品種	20a
さくらんぼ	4品種	20a
もも	5品種	20a
ブロッコリー	2品種	30a
水稲	1品種	40a

私たち夫婦は東京の同じIT会社で働き、「すべて自分の責任でやれる仕事がしたい」と模索していたとき、「新・農業人フェア」で「OSINの会」の人の熱い話を聞き、全く縁のなかった大江町に移住しました。受入農家が多く、2年間の研修期間で1年ごとに変わるので、多様な栽培の技術が学べ、さまざまな農家の人たちと交流できる良さがあります。そのつながりから、さらに町全体のネットワークに加わって地域に溶け込むことができ、町の一員になったと実感しています。

今、「OSINの会」の事務局を務め、移住者を受け入れサポートする側になりました。自分が周りの人から面倒を見てもらった恩返しに、地元の人たちと移住者をつなぐ橋渡しをしたいと考えています。これから移住を考えている人たちに大江町や農業の魅力を知ってもらい、少しでも移住する人を増やして、町の活性化の力になりたいですね。

新規就農者
インタビュー

農業は自分次第。無限の可能性があってワクワクします！

就農
6年目

【東京都から移住】
竹平　勤 さん（49歳）

◎役職：「OSINの会」会計
◎前職：会社員　◎家族構成：妻・義母・猫4匹

栽培作物		
すもも（苗木）	7品種	50a
西洋梨	1品種	4a
さくらんぼ	3品種	15a
ブロッコリー	2品種	20a
枝豆	2品種	30a
水稲	2品種	80a

会社勤めをしていたときに「経営者になりたい。それなら農業もいいかも」と考えて「新・農業人フェア」に行き、初めて「OSINの会」を知りました。他の市町村の話は漠然としていましたが、「OSINの会」の人の話を聞くと、就農してからの将来図が具体的にイメージでき、それから春・秋・冬と短期研修に参加しました。全く農業の経験がなく、家族の反対を押し切って移住し、独立就農して6年目。今では米・野菜・果樹の栽培で2haを経営しています。

農業のおもしろさは、栽培環境や作物の状況が毎年違うこと。毎年反省し、次年度の作戦を考えます。年の始めに1年間の構想を練るのが一番楽しくワクワクします。これからの主力にしたいと新たにすももにも挑戦し、50aの園地に7品種の苗木を植えました。農業は、自分のやる気次第で無限の可能性がある。これから農業をめざす人が増えてほしいと思います。

震災で被災し、有機栽培にこだわった農業を志しました。

就農
7年目

【福島県から移住】
橋本　光弘 さん（43歳）

◎役職：JA大江青年部副委員長
◎前職：製造業
◎家族構成：妻・子供2人

栽培作物		
有機無農薬ブルーベリー	7品種	7a
有機無農薬野菜	50品種	50a
有機無農薬大豆	3品種	30a
有機無農薬水稲	3品種	90a

化学メーカーを辞めて福島の実家に戻り、農業をはじめる準備を進めていた2011年、東日本大震災で被災。京都に避難し、農業研修生として有機栽培を学びました。

その後、福島の近隣の県で農業ができる場所を探していて出会ったのが「OSINの会」です。新規就農へのサポートが手厚く、全くツテのない土地で住まいや農地を紹介してくれると知り、第1期生として大江町に移住しました。

化石資源を大量に消費する社会に疑問を持っていたところ、大江町で無農薬の米作りを教わることができ、食の安心・安全を重視する有機栽培にこだわった農業に取り組んでいます。安定した品質を維持するのは難しいですが、できるだけ化石資源に依存しない、自然環境を考えた農業をしたいと思っています。人も自然の一部。資源を浪費しない、生物の多様性に配慮した農業を志す人が増えてほしいです。

賛助会員 インタビュー

豊かな自然を観光資源に 大江町のファンを 増やすことが目標です。

移住 6年目

【神奈川県から移住】

佐々木 隆馬 さん（42歳）

大江町山里交流館「やまさぁーべ」館長
ネイチャーガイド
◎前職：自然保護団体職員
◎家族構成：妻・子供3人

大江町山里交流館 やまさぁーべ

自然の中で農業体験などを提供する農家民宿をやりたくて「新・農業人フェア」に参加したとき、「OSINの会」の人に出会いました。熱心に話を聞いてくれ、「うちの町に廃校になる小学校があり、宿泊施設になる。興味があったら見に来たら」と誘われたのが大江町との縁のはじまりです。最初は地域おこし協力隊として来ました。その後、廃校を活用した「やまさぁーべ」の館長を務めています。

自然保護団体で仕事をしていたので、エコツーリズムによる自然再生をしたいという思いがありますが、大江町にはシンボル的な観光資源がありません。逆に、そうした日本の原風景のような自然環境をアピールし、田植え体験や収穫体験などを通して自然保護につなげていきたい、それが里山の豊かな自然を守ることにつながると考えています。大江町のファンを増やすこと、都会と大江町をつなぐことが、これからの目標です。

「OSINの会」 概況と年間行事

- 設　　立／2013年4月
- 構　　成／受入農家10名　独立農家17名　研修生4名　賛助会員6名
- 設立の経緯／農業後継者の育成、地域の活性化をめざして、農家自ら新規就農者を育てる協議会を設立（山形県内で初）
- 実　　績／2013年度　研修生7名　独立就農者2名　農業法人就職者2名
  2014年度　研修生5名　独立就農者1名　実家農業後継者1名
  2015年度　研修生5名　独立就農者3名
  2016年度　研修生7名（うち女性3名）　独立就農者2名
  2017年度　研修生5名（うち女性2名）　独立就農者2名
  2018年度　研修生3名（うち女性2名）　独立就農者3名
  2019年度　研修生3名（うち女性2名）　独立就農者1名
  2020年度　研修生4名（うち女性3名）　独立就農者2名
- 移住者の出身地（家族含む）／神奈川県20名　埼玉県1名　東京都12名　宮城県14名　福島県4名　岐阜県1名

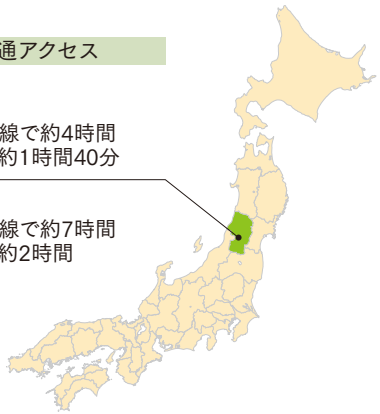
- 新・農業人フェア参加（4～5回／年）
- 現地見学会（4～5回／年）
- 勉強会（おおむね毎月）
- 視察研修（年1回）（県外）
- 研修生交流会
- 新規就農者園地巡回
- 販売研修（4～5回／年）
- 市場視察

※なお、上記行事の折、研修生はすべて無料で参加できます。

大江町への交通アクセス

■ **東京から**
- 車で約5時間
- 新幹線と在来線で約4時間
- 飛行機と車で約1時間40分

■ **大阪から**
- 新幹線と在来線で約7時間
- 飛行機と車で約2時間



大江町就農研修生受入協議会

「OSINの会」へのお問合せは、
大江町役場 農林課 農政係が窓口となっております。

「OSINの会」ホームページはこちら▶

〒990-1101 山形県西村山郡大江町大字左沢882-1
TEL: 0237-62-2115
FAX: 0237-62-4736
受付時間：8:30~17:00　お休み：土・日・祝祭日及び年末年始
mail: norin@town.oe.yamagata.jp

短期研修・現地見学会のお申し込み、新規就農に対する支援制度のご質問「OSINの会」に対するご質問等、何でも、ご連絡ください。

Q&A

農業を始めるときの疑問や不安として、相談会などでよく質問される事柄とその回答をまとめました。
他にも分からないことがあれば一人で悩まず、何でも「OSINの会」に相談してください。

Q:農業はしてみたいけれど、経験もなく、何から始めて良いのか分からないのですが…。

「OSINの会」の新規就農者は、ほとんどが農業未経験者です。何から始めて良いのか分からないのは私たちも同じ、はじめの一歩は現地見学会への参加からでした。**「OSINの会」では現地見学会（1泊2日／宿泊費・食費無料）を行っています。**まずは、実際に「見る」「知る」「体験する」ことから始めましょう！

Q:自己資金はどれくらい必要ですか?

当面の生活費や車などが必要ですので、資金は計画的に準備しておきましょう。研修期間1年目から制度資金が活用できますので、「OSINの会」へご相談ください。さらに、大江町では新規就農者向け住宅などを完備し、水道光熱費の補助も充実しています。他の市町村では自己資金300万円位といわれていますが、「OSINの会」では、やり方・進め方を工夫して少ない資金で独立就農した農家もいます。

Q:研修生になるための選考基準はありますか?

一番大切なのは「やる気」と「人柄」です。具体的には、短期研修を経て適性を判断します。もちろん「OSINの会」の受入農家や仲間も全力でサポートしますから、本気で就農をお考えの方は、ぜひ大江町へ来てください！

Q:体力に自信がなくても大丈夫ですか?

「OSINの会」ではこれまで17人が就農し、うち**5人が女性で新規就農者として活躍しています。**選果などの細かい作業も多く、必ずしも体力ばかりが必要ではありません。さらに、農機具を活用することで体力面は補えますから心配いりません。農機具バンクや「OSINの会」の農機具講習会も充実しているので安心です。

Q:大江町で就農して続けている人の割合は?

就農してからリタイアした人はゼロです！
「OSINの会」では研修生全員が就農できるように、それぞれに合ったサポートをしています。

Q:研修中に大事なこと、就農してから大事なことは?

農業は自然相手の仕事なので、計画通り、希望通りにいくことばかりではありません。雨、風、雪、寒さ、暑さなど、その要因はさまざまです。**壁を乗り越える気持ちを持ち続けること。**また、**受入農家や、先輩就農者、地域の人などとの関わり合いを大切にして、つねに技術を学ぶ姿勢**が必要です。

Q:農地がなかなか見つからないと聞きますが…。

「OSINの会」では、これまで農地取得に困ったという例はありません。研修中から候補地を探し、ほとんどの研修生は移住してから1年以内で農地が決まっています。「OSINの会」は借り手を探している農地の情報収集力があり、「OSINの会」会員であることで新規就農者の信用度が上がるため安心です。

Q:大江町に就農した人たちの収入はどのくらいですか?

「OSINの会」では、他地域の農産物との差別化を図り、ブランド品種栽培による高収益農業や、無農薬有機栽培での高付加価値農業を実践しています。そのため、**年間500万円～ 1,000万円程度の収入を得ている農家が多いようです。**また、直売所やインターネット販売で攻めの経営をしています。

Q:子供の学校や病院など、行政サービスは充実していますか?

大江町内には保育園・幼稚園などが3か所あり、子育て支援センター（1か所）は日曜日も開放しています。待機児童はゼロで、**子供を育てながら安心して働ける環境が整っています。**
小学校は2校、中学校・高校は1校ずつあり、放課後児童クラブは補助制度も用意しています。
0歳から高校生までの医療費は無料で、クリニックは2か所あります。

まずは、お気軽にご相談を！